

平成30年度 事業所による自己評価結果（公表）

事業所：ララスマイル 事業：放課後等デイサービス 公表日：平成30年10月 回答数：7

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		特徴の異なる4つの部屋を使い分けている。		
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	法令を遵守し、ご利用者の状況等により加配での配置も行っている。	より適正な送迎支援に向け、送迎車の増車を検討	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7		スロープ・手すりを設置。		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	3	打合せの・ミーティング・振り返りの機会を設けている。	長期休暇時の開所時間が長い際の打合せ等のタイミングの工夫が必要。引継ぎ書などの書面も有効活用していく。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2	1	ご利用者・ご家族からの意見等は日々のミーティングで共有・検討している。	明確な改善目標を設定し取り組んでいく必要がある。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		1	6		書面及びホームページでの公開を行う。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7		現時点では実施を考えていないが、必要に応じて法人として検討していく。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		研修参加及び研修報告を実施している	新潟市放課後等デイサービス事業所ネットワークと連携し、研修機会を増やしていけるよう取り組みを行う。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2			継続したアセスメント実施に向け、とり方の工夫を行い、支援者・保護者と情報を共有し、支援の方向性を検討する。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		発達年齢・特性に応じたツールを作成している。	継続したアセスメント実施の効率化。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			担当を決めたうえで、最終的な確認は全体で行っている	いろいろな意見が出やすい工夫。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2	1	内容が同じ場合でも、目標や活動意図を変更。飽きない工夫も。	創作・手芸はメニューを増やした方がいい。やり方も。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	13	個々の状況や特性に応じた活動をとおして、支援が提供されていますか。	4	3		ミーティングを通して、意識できるよう事前に打合せを行っている。	長期休暇時等の長い時間・期間での日課、活動の工夫。
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3	1	状況に応じた日課組み。	長期休暇時の活動充実に向けた、職員体制の確保。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		集団生活・地域社会でどうかすかを意識して作成するようにしている。	本人・家族にとってわかりやすい内容で作成する必要がある。また、支援者間で内容・支援意図について共通理解しやすい内容・表現を心がける。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2		職員の勤務体制に合わせ、2回に分けて行っている。	内容より、活動意図などをもっと打合せする必要あり
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		時差勤務のため、翌日に行っている	パート職員も含め、情報の共有が不十分な場合も。書面等も活用する工夫も必要。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	3	2		ケース記録だけでなく活動の記録をシート化し、支援につながりをもたせていきたい。
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	3			評価があいまいになるような計画の場合がある。
関係機関や保護者との連携	20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	3			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			児童発達管理責任者だけでなく、現場担当者も参加する機会を設けている	開催日・時間の調整が難しい。
	22	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2		保護者にも協力してもらっている学校から予定表をもらっている。	
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7				
	24	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5	1	ケースによっては保育園の訪問を行った。	今後増えてくる。連携を深めていく。
	25	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		7			次年度より対象者があるため、情報を共有できるよう、引継ぎ方法必要書面等の整備を行っている。
	26	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4		必要に応じて連携している。研修会開催時は参加している。	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	27	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5		公園や図書館など地域資源を活用している	地域行事の参加の機会はあるが、より直接関わる機会を増やしていきたい
	28	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7			委員を受けている。セミナーの開催。	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		口頭だけでなく、連絡ファイルを工夫しより状況が伝わるよう取り組んでいる。	連絡ファイルを活用しているが、内容や伝え方にはさらなる工夫が必要。
保護者への説明責任等	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		7			必要に応じて検討していく。
	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1			
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		必要に応じて面談・家庭訪問を行っている	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			意見があった場合は職員で共有・すぐに対応を検討	苦情や意見がしやすい環境づくり。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	5	1	必要に応じて書面で配布。	おたよりの発行が滞った時期があった。今後は原則2ヶ月に1回発行していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			同意書での確認。 支援者間での意識統一。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	3			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	6			ボランティアの受け入れだけでなく、事業所発信の行事をしてみたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		5	2		周知が不十分 一部マニュアル化されていないものがある
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		災害対応マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施している	情報発信が不十分
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2		セルフチェックの実施。	法人として取り組んでいる。内容の充実が必要。

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	身体拘束についての詳細を組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	6	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		7		事前確認。 対応の際はダブルチェックを実施	医師の指示を必要とするようなケースは現在なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	4		会議・ミーティングでの確認。	会話ではあるが、書面でおこなっていない場合もある。

*この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。